

学習プリントについて

1 はじめに

新学習指導要領では、中学校の学習内容と小学校及び高等学校における学習内容との接続の観点を踏まえ、内容の改善・充実が図られています。その中で、表現をより適切でより豊かにするなどの目的で、**現行の学習指導要領では示されていない内容（語彙や文法事項等）が新たに加えられています。**

これにより、次年度から使用される新教科書では、各学年で学習する内容が再構成され、各学年における言語材料の配当が変更されています。そのため、**令和2年度の中学1年生と2年生が、移行措置が必要な言語材料を確実に学び、新教科書を用いた学習にスムーズに移行できるように手立てを講じる必要があります。**

〈移行措置を適切に行わないと…〉

【例】「There is[are] ～.」が2年生で未習状態になってしまう

令和2年度1年生



令和3年度2年生



このような未習状態に陥らないよう、**次年度から使用する新教科書の内容を十分に確認した上で、移行措置を計画的に行いましょう。**

本コンテンツでは、移行措置が必要な言語材料を指導する際に用いる学習プリントを作成しました。移行措置を行う際の教材として御活用ください。また、先生方御自身で学習プリントを作成される際のモデルとして参考にしてください。

本コンテンツを使用する上での注意点

- (注1) 本コンテンツにおける「言語材料」とは、新学習指導要領における「英語の特徴やきまりに関する事項」を示しています。
- (注2) 本コンテンツにおける「文法事項」とは、新学習指導要領における「文、文構造及び文法事項」を示しています。

2 学習プリントにおいて取り扱っている移行措置が必要な言語材料

第2回発信コンテンツ「移行措置への対応方法」において、移行措置が必要な言語材料ごとに、移行措置を行う時期とその際に用いる教材を例示しました（次頁資料1）。今回の第3回発信コンテンツでは、 の言語材料を指導する際に用いる学習プリントを作成しました。

【令和2年度の中学1年生 移行措置を行う時期と教材の例】

※移行措置を行った言語材料は、取扱欄に☑しましょう。☑が付かなかったものは、令和3年度に確実にを行うよう、引継ぎをしましょう。

移行措置が必要な 主な言語材料	令和2年度		令和3年度	
	移行措置を行う時期	教材	移行措置を行う時期	教材
1 ・感嘆文 (How …! / What …!)	・Unit10 Part3(p.110)において, "What a surprise!"を学習するとき	A: Bridge ① What a Wonderful Memory! ② A Birthday Present ④ What a Great Movie!	・適宜	A: Bridge ① What a Wonderful Memory! ② A Birthday Present ④ What a Great Movie!
2 ・like …ing ・be good at …ing	・自己紹介や他者紹介を行うとき	E: 自作の学習プリント 例) 好きなことや得意なことをペアで紹介し合う	・動名詞を学習するとき	C: 新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit4 Homestay in the United States
3 ・want [try, needなど] to ・What do you want to …?	・自己紹介【発表とやり取り】を行うとき	B: 現行教科書 NEW HORIZON English Course 1 Presentation1 (pp.54-55)	・不定詞を学習するとき	C: 新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit3 My Future Job
4 ・look+形容詞	・Unit5 Part2(p.61)において, "The curry is delicious." [SVC (C=形容詞)]の学習を終えた後	E: 自作の学習プリント 例) 友達のものを見て感想を述べ合う	・適宜	E: 自作の学習プリント 例) 友達のものを見て感想を述べ合う
5 ・be 動詞の過去形	・Unit11において, 一般動詞の過去形の学習を終えた後 ・Let's Read(pp.128-130)の学習を終えた後	D: [東京書籍]の移行措置関連資料 「一年を振り返って」 D: [東京書籍]の移行措置関連資料 「お気に入りの物語」	・be 動詞の過去形を復習するとき	C: 新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit0 My Spring Vacation
6 ・過去進行形	・Daily Scene7 絵はがき(pp.122-123)の学習を終えた後 ・be 動詞の過去形の移行措置を終えた後	D: [東京書籍]の移行措置関連資料 「旅行の思い出」 B: 現行教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit1 (p.9)	・過去進行形を復習するとき	C: 新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit0 My Spring Vacation
7 ・There is [are] ….	・Unit8において, 場所を表す前置詞(p.85)の学習を終えた後	E: 自作の学習プリント 例1) 家の近くにあるものを紹介する 例2) 今と昔の町並みを比較し, 説明する	・"There is [are] …."を復習するとき	C: 新教科書 NEW HORIZON English Course 2 Unit0 My Spring Vacation
8 ★場面: レストラン ・What would you like? — I'd like …. ・Would you like …? — Yes, please. [No, thank you.]	・全単元の学習を終えた後	E: 自作の学習プリント 例) レストランや食事会で, 客と店員になり, 申し出たり断ったりする	・適宜	E: 自作の学習プリント 例) レストランや食事会で, 客と店員になり, 申し出たり断ったりする

【資料1 第2回発信コンテンツ「移行措置への対応方法」より一部抜粋】

学習プリントのタイトルと取り扱っている移行措置が必要な言語材料を以下に示します（資料2）。

Click here!



※タイトルをクリックすると学習プリントのページへリンクします。

	タイトル	取り扱っている移行措置が必要な言語材料
1	Ken's Favorite Person	like …ing / be good at …ing
2	Ken's New Jacket	look + 形容詞
3	This Saturday's Plan	There is[are] ….
4	Let's Play Shogi	It is … (for+人) + to ….
5	Origami	疑問詞 + to
6	Ken's Favorite Sport	現在完了形（継続用法）
7	Do Your Homework!	現在完了形（完了用法）
8	The Place Ann Wants to Visit	現在完了形（経験用法）
9	At the Restaurant	What would you like? —I'd like …. Would you like …? —Yes, please. [No, thank you.]
10	At the Electronic Store	I have a problem with … / …doesn't work. / I apologize for ….

【資料2 学習プリントのタイトルと取り扱っている移行措置が必要な言語材料】

3 学習プリントの特長

- 移行措置が必要な言語材料を1単位時間で指導することができます。
- 対話を用いた実際のコミュニケーションの場面の中で、移行措置が必要な言語材料を導入することができます。
- スモールステップで移行措置が必要な言語材料を指導することができます。
- 「読むこと」「話すこと[やり取り]」「書くこと」等の複数の領域における活動を通して、移行措置が必要な言語材料の理解を深めることができます。
- Word データで Web アップしているため、生徒の学習状況や授業の進度等に応じて、先生方御自身で学習プリントをアレンジして使用することができます。

4 学習プリントの内容構成

Read

対話を用いた実際のコミュニケーションの場面の中で、移行措置が必要な言語材料を導入することができます。

Drill

移行措置が必要な言語材料に慣れるために、簡単な口頭練習をする活動を設定しています。英文の内容を示す絵を見ながら、実際のコミュニケーションの場面をイメージして口頭練習をすることができます。

【学習プリント5：疑問詞+ to】

5 Origami

Class[] No.[] Name[]

Read

ユイ (Yui) がアン (Ann) に折り鶴を見せています。

Yui: Look, Ann. Do you know this?
 Ann: Of course! It's a paper crane.
 Yui: That's right!
Do you know how to make a paper crane?
 Ann: Yes, I like *Origami* very much.
I know how to make other animals too.
 Yui: Really? Please teach me how to make them.
 Ann: Sure.



★ポイント★

移行措置が必要な言語材料のポイントを押さえることができます。

★ポイント★

「どのように…するか」と言うときは、【how to …】の形を使います。

〈その他の【疑問詞+ to】の形〉
 ・what to … 「何を…すべきか」 ・when to … 「いつ…すべきか」
 ・where to … 「どこで…すべきか」

Check

Choose True or False

- (1) Ann knows how to make a paper crane. True / False
 (2) Ann will teach Yui how to make other animals after this conversation. True / False

Drill

例にならない、下の絵について言いましょう。

例) Ann knows how to make miso soup.

(1)



◇ Ann / how / make miso soup

(2)



◇ Yui / when / leave

(3)



◇ Ken / what / do next



Talk and Write

例にならない、下線部を変えて友達と話ししましょう。

また、話したことをノートに書きましょう。

例)

- A: Do you know how to make miso soup?
 B: Yes, I know how to make it.
 [No, I don't know how to make it.]

Words

- ・ski
- ・play *shogi*
- ・make *tempura*
- ・use a computer
- ・ride a unicycle

Talk and Write

移行措置が必要な言語材料を用いて、やり取りする活動を設定しています。やり取りだけで終わらず、やり取りしたことをノートに書くことで、より理解を深めることができます。

Read⇒Check⇒Drill⇒Talk and Writeの順にスモールステップで、移行措置が必要な言語材料を指導することができます。

該当する言語材料を用いて対話練習を行う **Practice** や発展的な活動を行う **Try** を設定している学習プリントもあります。



5 終わりに

本コンテンツでは、移行措置が必要な言語材料を指導する際に用いる学習プリントを作成しました。移行措置を行う際の教材や先生方御自身で学習プリントを作成される際のモデルとして御活用していただければ幸いです。